



あ ま 海 士

平成18年

1

No. 396

◆編集発行 島根県隠岐郡海士町役場
TEL (08514) 2-0111
◆印刷 信栄堂印刷(海士町菱浦)
Eメール: info@town.ama.shimane.jp



謹賀新年

今年も皆様にとって幸せ多き年でありますように！

※※活気づく第一次産業 夢と希望を求めて・・・※※

昨年首都圏へお披露目したCAS商品も大手企業や有名なレストランのメニューにも出されるようになりました。地元若手漁師さんの“新鮮さへのこだわり”にはますます拍車がかかります。

一方畜産関係では、潮風に吹かれたミネラル豊富な牧草を食み健康的に育っている潮風ファームの牛たち。現在240頭が飼育され、2月には東京食肉市場へ初出荷を予定しています。隠岐海士の生産環境の優れた場所で育ったこの牛を、消費者の皆様へ安全安心なお肉としてお届けできる日も間近のようです。

町の人口世帯数

総人口 2,535人(-6)
男 1,196人(-3)
女 1,339人(-3)
世帯数 1,118世帯(±0)
住民基本台帳(12月末現在)
()内は10月末との比較

主な内容

- 町長新年の抱負他……………2～3
- 各種団体長あいさつ他……………4～5
- H17国勢調査の結果……………6
- 町の話……………7～11
- 平成16年決算統計報告……………12～13
- 議会だより他……………14～15
- 教育だより他……………16～19
- 戸籍の窓……………20

町政の経営指針 自立・挑戦・交流 ～そして限りなき前進～



年頭所感

確かな明日へ

海士町長 山内道雄

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は皆様の力強いご支援・ご協力を賜り改めて感謝とお礼を申し上げます。

さて、三位一体改革は、地方への3兆円税源移譲こそ実現したものの、国庫補助負担金の大半が国負担率の引き下げに終わり、また、「地方財政計画」では、税源の脆弱な地方の命綱の交付税を1兆円縮減するなど、2006年度も、より厳しい予算編成となることは必至であります。

しかし、本町は、単独の道を決断していち早く「自立促進プラン」を策定し、「守り」と「攻め」を戦略軸にこれまで地域の活性化に、果敢に挑戦してまいりました。それが、今、着実に展開を始めたことによる期待を膨らませていきます。まず、行政自らが痛み、

住民の皆様と絆を強めながら、

少子化対策や次世代の人材育成など、町の未来へ投資をするという「守り」の展開では、特に人口問題が産業・行政の

基軸と捉え、官民協働のプロジェクトで人口2600人を

目標に掲げて、UITターンを積極的に受け入れてきました。

その結果、昨年4月からこれまでに72人が、更に3月末ま

では、総勢85人のIターンの方々の定住が見込まれてお

り、大変心強く嬉しい限りでございます。

殊に、Iターンの皆様には初めての「島暮らし」でご不便も多いかと存じ

ますが、お気軽に何でもご相談下さい。

また、ご近所の方々には、一日も早く地域に溶け込んで

いただけるよう温かいご支援ご協力をお願い致します。

昭和50年から国勢調査のた

びに、約200人づつ減少し

続けていた人口が、今回の国勢調査では91人減で、人口は

2,581人となりました。

また、死亡者が出生数を大きく上回る自然減が拡大して

いるという厳しい現状を放っておけば人口減に際限がない

ことから、給与カットの一部を財源に、一昨年10月に「子

育てすこやか条例」を制定・実施してきました。

これまでに毎年10人程の出生数だったのが、今年度は、15人(50%増)

の出生が見込まれており、人口減に何としても歯止めをかけた

たいとの思いで取り組んでいます。

一方で、本町の生き残りを賭けた「攻め」の産業振興策

は、町全体の魅力を高めることで外貨を稼ぎ「地域の自立」

生計画」の認定を受けました。その中核事業に、離島のハンディを克服する最新鋭の「CAS凍結システム」を導入して、細胞を生かしたまま旬の味と鮮度抜群の岩ガキやイカなど、首都圏への輸送が可能となりました。昨年5月の本格稼働以来、東京・神奈川・愛知など6都県のスーパーや外食チェーン店との大口契約もでき、銀座の料理店のメニューに堂々と、海士の漁師手釣りの極上「白イカ」として顔写真入りで出されるなど、各地で好評をいただいております。そして、伝統製法に基づく天然のミネラル豊富な「海士ノ塩」は、東京の高級ホテルや山陰のデパートでもニガリとセットで進物用として順調に注文が来ています。

「島産まれ島育ちの和牛」がいよいよこの2月に東京食肉市場に初登場します。今、この一つひとつがここまで一足飛びに辿り着けたのも、海士町が本当に好きで、心からご支援をいただいている多くの方々の強いネットワークの力にあり、改めて感謝を致す次第です。

確かに、本町の未来は、産業振興施策の成功と地方交付税改革の影響にかかっています。しかし、生き残りへの挑戦は、まだ、始まったばかりです。この地方に厳しい改革の嵐を「地域再生」への追い風に変えて、「自分たちの町は、自分たちで守るしかない」という危機感を町民の皆様と共有し、互いに手を携えながら挑戦を続けて参る所存でございます。

新しい年が「夢と希望に輝き」そして、「確かな明日へ」繋ぐために、何卒、本年も一層のご理解とご協力・ご支援をお願い申し上げます。皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りして、年頭のご挨拶といたします。



分権化の流れの中で

教育長 榎原 信也

輝かしい初春のお慶びを申し上げます。旧年中のご厚情を深謝申し上げ、皆様のご健勝とご多幸をお祈り致します。

昨年もまた、教委が推進する諸事業や新たな事業として取り組んだ新宿日本語学校のサマースクールや一橋大学留学生のホームステイの実現にご協力を賜りました多くの方々に、心から感謝申し上げます。厚く御礼申し上げます。

さて、国と地方との財政を見直す三位一体の改革の中で、義務教育費の国庫負担制度の行方は「全国の義務教育の機会均等、教育水準の維持」という観点から深く憂慮するものであり、大きな関心事となりましたが、昨秋出された中央教育審議会の最終答申には、教職員の人事権が県から市町村へ委譲される方向に盛り込まれる等、また地方制度調査会の答申では教育委員会制度の見直しが見直しが提言される等、戦

後一貫して維持されてきた教育制度が転換期にあるということ強く実感させられた一年でした。「地方にできることは地方へ」という分権化の流れの中で、地教委や学校が特色ある独自の教育を推進するための権限は強くなり、将に教育の世界にも地域間の競争が到来してきたことを意味するものでもあります。

幸い本町には、隠岐島前高等学校があり、「保・小・中高」という一貫した教育環境が整い、「海土の子はみんな我がとこの子」という、ふるさとに根ざした子どもを育むことのできる地理的特性があります。広い視野を持って、保・高との教育的課題を共有しながら、小・中学校の更なる連携を深めることは確かな学力を定着させる上でも今日的課題であろうと認識いたします。何卒深いご理解とご指導の程をお願い申し上げます。

島暮らし体験ツアー

〜住みよい環境！安全・安心を求めて〜



町営住宅の説明を受ける見学者の皆さん

ど町内で生活するため必要と思われるところを見て回りました。

二日目には、隠岐島内では初めての『しま暮らしフェア』と題した定住相談会を開催し、海士町だけでなく、島根県、隠岐島内の町村・職場からも参加をいただき、定住相談・就職相談・就学相談等行いました。参加の皆さんはそれぞれ思い思いのブースへ向かい熱心にお話を聞いていました。

11月18日から20日までの二泊三日の日程で、定住希望者を対象とした、『島暮らし体験ツアー』が行われました。このツアーには、北海道から長崎まで、71名・34家族が参加しました。海士町に定住を希望される方達に、島の暮らしがどのようなものか、実際に来て体験してもらおうというものです。

初日はフェリーで到着後、バスに分かれ、町内の職場・住宅・各施設・学校・商店な

また、スペシャル企画として、既に海士町にIターンされている方4名をお招きし、海士町での暮らしについてお話ししていただきました。Iターンしてかなり年数のたつ方や、今年9月に来られた5人家族の方などのお話を、皆さん興味深そうに聞いていました。午後からは、産業文化祭の会場にも案内し、海士町の産業・文化を知っていただ

きました。全国的に安心・安全を求める方や、独自のライフスタイルを求められる方など、田舎で暮らしたいと思う方は増えています。海士町にもこの3月末までの一年間に、30家族80名以上の方が定住されます。

参加者のアンケートでも「海士町に定住したい」というご意見を沢山いただいています。ただ、現在のところ仕事・住宅の数に限りがあり、沢山の方に来ていただけないのが現状です。今後は定住希望の方々と密に連絡を取りながら、職場等の確保に努め、自然豊かな島の暮らしを経験していただけたらと思います。



情報収集に一生懸命な参加者の皆さん

(交流促進課 定住係)



新年明けまして
おめでとうございます。
今年もよろしくお願ひ致します。
さて、旧J A海士町と合併以来
早いもので7年目に突入して
おります。その間、組合員・地域住
民の方々には、J A事業全般にわ
たり、ご協力・ご指導賜り厚く御
礼申し上げます。ご承知のとおり、J Aを取り巻く環境は
各規制緩和に伴い、J A関連法の改正が進み一段と厳しさを
増している中、離島という条件不利地域ではありますが、
当J Aとしては地域の特性を活かした農業振興に取り組
みたいと考えております。総合J Aとして組合員・地域住
民の皆様方に愛されるよう役職員一丸となり取り組みま
すので、今まで以上のご支援・ご協力を賜りますようお願い
申し上げます。

J A隠岐どうぜん農業協同組合
代表理事組合長 堀川 栄市



新年明けまして
おめでとうございます。
平成18年が輝かしい年であり
ますよう祈念いたします。
海士町連合婦人会は、現在3地
区婦人会と他地区の個人会員80
名の会員で構成されております。
婦人会活動は交通安全キャン
ペーンの実施、環境保全活動としての生ごみのリサイクル
運動の推進消費者活動、町行事の産業文化祭や健康福祉
フェアへの協力、ボランティア活動や地区行事への参加支
援等多岐にわたる実践活動を行い地域づくりに大きな役
割を担っております。
今後とも町政発展のため、また、自ら研鑽向上するため活
動を展開して参りたいと思っておりますので町民の皆様
のご支援・ご協力をお願い致します。

海士町連合婦人会
会長 上田 正子



新年あけまして
おめでとうございます。
輝かしい新春を迎え謹んでお慶
び申し上げます。
さて、去る平成17年11月25日隠岐
島前森林組合理事會に於いて、崎野
代表理事組合長の後任として就任
致しました。
林業情勢の厳しい折柄その責任を痛感すると共に、森林
組合の発展と林業の振興に全力を尽くす所存でございます。
何卒一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し
上げます。

隠岐島前森林組合
代表理事組合長 井筒 重盛

新年の抱負を お聞かせ下さい！



町民の皆様明けまして
おめでとうございます。
海士を故郷に持つ者の現在の基
点は海士ですが、その故郷も少子
高齢化、地方交付税の削減等と、
大きな問題に直面しておりますが、
これに正面から立ち向かい「人づ
くり」「モノづくり」「健康づくり」
を標榜として町長はじめ職員更に町民の皆様が一丸と
なつて『自立する海士』に向かい取り組む姿に深く感銘し
ております。
海士御塩司所、C A S凍結センター等による産業の増進
キンニヤモニヤの全国に向けての普及活動更に進展成功
致しますことを心より願っております。
故郷を持つ者にとつて故郷は何ものにも変え難い心の
寄り所です。町民一体となつて頑張つた結果が結実する事
を心よりお祈り申し上げます。

関東海士後鳥羽会
会長 石倉 良和



新年を迎えて
組合員の皆様明けまして
おめでとうございます。
組合の運営につきましてご理解
解とご協力を賜り厚く御礼申し上
げます。
さて、昨年は海士町漁協にとり大
変な一年でした。通常総会10月の一
県一漁協不参加を決議した2回の臨時総会、県全体の水産
行政に影響が出るとの由で12月に行つた漁信連からの脱
退の書面総会等目まぐるしい年でした。加えてまれにみる
燃油の高騰漁獲漁価の不振等組合員の皆様方も大変な苦
勞をされた事と思ひます。
平成18年の新年にあたり自立自主の道を行くと決めた
海士町漁協は苦しくとも皆様方の英知を用いて前進して
行く道ではありませんか。
終わりに組合員の皆様方の益々のご多幸をお祈り申し
上げ新年のご挨拶と致します。

海士町漁業協同組合
組合長 中山 忠範



新年明けまして
おめでとうございます。
町民の皆様には、平素より商工
会事業に多大なご理解とご協力を
賜りまして心より厚く御礼申し上
げます。さて、昨年は、海士町を
代表するイベントとして始めたキ
ンニヤモニヤ祭りもいよいよ第10
回を数え、全国各地から各種団体450名の参加者を迎え、
地元参加者を含め総勢1200名が集まりました。今までに
ない盛り上がりの中、無事終える事ができましたのも一重
に、皆様方のご理解ご協力の賜と、改めて深く感謝申し上
げます。現在の日本経済は、回復基調にあるというものの
我々商工業を取り巻く環境は、より一層厳しさを増してお
ります。「今やらねば」という気持ちで、会員、職員一丸
となつて努力を重ねて参りますので、今後ともよろしくお
願ひ申し上げます。

海士町商工会
会長 田仲 壽夫

今年^{いぬ}は成年 年男・年女

新年の抱負

竹村直人くん
(福井) 12歳

今年は小学校を卒業し中学生になります。中学校に入ったら部活や勉強に力を入れて、がんばっていききたいと思います。



沢 三郎さん
(東) 84歳

「グラウンドゴルフ」「山林の下刈り」と毎日適度の運動に頑張っています。人生命ある限り健康で夢と希望を持って生きてこそ生き甲斐を感じるのではないのでしょうか。
さあ、今年も元気を出して…!



石倉 功さん
(宇受賀) 36歳

今年で3度目の年男。2度目までは全く気にしていませんでしたが3度目ともなると…まだまだ未熟者ですが、自分なりに頑張っていきたいと思っています。



澤井美美子さん
(崎) 72歳

お陰様でこうして元気に働いております。今年は成年・年女。ますます元気に頑張ります!



石田マツ子さん
(宇受賀) 96歳

こうして元気でいられるのは皆さんのお陰です。一番の楽しみは、「ひまわり」へ行ってお風呂や会食をすることです。まだまだ頑張ります。



佐藤チエコさん
(菱浦) 60歳

夫婦仲良くいつまでも元気で暮らしたいです。



水上千矛さん
(知々井) 48歳

私と同じ成年に、二人の孫ができるなんて、とってもステキな年になるかも? でも、おばあちゃんなんて呼ばせないわよ!



宮下淳子さん
(御波) 84歳

「老いの愚痴軽く飛して秋の蝉」いつしか八十路に来て、呆けない事を願い、朝の畑に喜びを感じます。デイサービスで皆と笑う事。家族や孫等に囲まれ乍ら仕合わせ感謝の余生を送ります。



藤田理子さん
(北分) 12歳

今年から中学一年生になる予定。親からは無敵の大食漢とされています。残り少ない小学校生活を楽しく過ごすことと中学に入ったら新しい友達をつくって部活をがんばるゾ!



榊原明大さん
(菱浦) 24歳

とりあえず今春の「綱引き」で一つでも多く勝ってなおらいを盛大にしたい。



小前和世さん
(宇受賀) 36歳

「笑う門には福来たる」いつも笑顔で過ごしていきたい!



井上静雄さん
(福井) 48歳

体力に多少自信を失いつつある年男となりました。人生の折り返し地点を過ぎ、ファイナルステージに向かいひたすら走り続けます。



青木多喜子さん
(豊田) 48歳

気がついたら、(?)回目の年女になっていました。いつまでも気を若く、いつまでも前向きに生きていこう! をモットーにファイト!



山中健次さん
(中里) 72歳

煌めくのは、若いときだけでしょうか。人生これからとの気概をもって、生きる喜びを創り出し、輝かしく歩みたいものです。



横棚美紀さん
(菱浦) 24歳

今年健康で幸せな一年にしたいです。



道橋幸男さん
(多井) 60歳

「還暦」めでたくもあり、めでたくもなし。今を大切に心がける。



海士町の成年生まれ

明治 43年生まれ	1人
大正 11年生まれ	29人
昭和 9年生まれ	42人
21年生まれ	28人
33年生まれ	33人
45年生まれ	13人
57年生まれ	9人
平成 6年生まれ	20人
合計	175人

人 口 の 推 移

調査年	世帯数	人口	男	女	人口増減	対前回 伸び率(%)
T 9	1,351	6,001	2,891	3,110		
T14	1,233	5,478	2,641	2,837	▲523	-8.7
S 5	1,232	5,308	2,619	2,689	▲170	-3.1
S10	1,223	5,048	2,528	2,520	▲260	-4.9
S15	1,110	4,620	2,293	2,327	▲428	-8.5
S20	1,475	6,705	3,256	3,449	2085	45.1
S25	1,487	6,986	3,335	3,651	281	4.2
S30	1,450	6,678	3,268	3,410	▲308	-4.4
S35	1,416	6,160	3,023	3,137	▲518	-7.8
S40	1,346	5,145	2,486	2,659	▲1015	-16.5
S45	1,245	4,257	2,046	2,211	▲888	-17.3
S50	1,206	3,809	1,804	2,005	▲448	-10.5
S55	1,203	3,537	1,661	1,876	▲272	-7.1
S60	1,168	3,339	1,554	1,785	▲198	-5.6
H 2	1,136	3,119	1,428	1,691	▲220	-6.6
H 7	1,098	2,857	1,336	1,521	▲262	-8.4
H12	1,096	2,672	1,273	1,399	▲185	-6.5
H17	1,160	2,581	1,268	1,313	▲91	-3.4

島根県政策企画局統計調査課のH17年国勢調査結果速報(H17・11・25公表)によると、島根県全体の人口総数は、742、173人で前回調査

平成17年 国勢調査の結果

平成17年10月1日に行われた国勢調査の人口及び男女の数は下記のとおりです。

人口数	2,581人
男	1,268人
女	1,313人
世帯数	1,160戸

の12年より19、330人減少し、世帯数260、786戸となっており、前回の調査に比べると3、256戸が増加し、さらに核家族化などが進んでいます。また、島根県全体の人口および世帯数の増減率をみると、21市町村中(町村合併したため圏域の変更にもよるが)人口は県平均2.5%減で海士町は、3.4%の減少で県下では7番目でした。世帯数では県平均3.4%増で、海士町では5.9%増となりこれは県下では東出雲、斐川町に続く

3番目の順位となりました。また、隠岐島4町村をみると知夫村の1%増続いて海士町の3.4%減、隠岐の島町6.4%減、西ノ島町8.4%減という結果でした。このように5年前の人口が県下全体でみると19、000人余り減少している現状から、海士町では、前回比3.4%減(91人減)にとどまったことからすると、前号(No.395号)でも述べたように、新産業の創出によるUイーターの確保や、また、少子化対策として、子どもを生み育てやすい環境づくりをつくるために子育て支援条例を制定するなどの施策が少しづつで

はありますが成果を出しつつあり、Uイーター者に関してH17、4月〜12月末で72人(16家族)また、子育て支援条例に関しては、出産祝い金を受けた方が11件となっております。将来を展望したこの施策が今後大きく町政に反映し活気ある町づくりができることを期待したいものです。

このデータは、今後行政のあらゆる基礎資料として活用されます。ご協力ありがとうございます。

(*総務省統計局の公表結果とは若干異なる場合があります。)

集落別人口数及び世帯数 (平成17年国勢調査)

地区名	世帯数	人口	男	女
菱 浦	223	456	240	216
福 井	46	136	65	71
西	59	132	67	65
中 里	153	306	158	148
東	168	342	174	168
北 分	118	313	141	172
宇受賀	81	203	98	105
豊 田	42	111	54	57
保々見	24	74	34	40
知々井	46	89	44	45
御 波	81	171	80	91
多 井	16	29	13	16
崎	95	203	93	110
日須賀	8	16	7	9
総 計	1,160	2,581	1,268	1,313

寄付のお礼

11月19〜20日に行われた産業文化祭において、次の方々から寄付を頂きました。

- ・ 呈茶グループ様
- ・ 中里燦々クラブ様
- ・ 宇野豊店様

隠岐開発総合センターのスリッパの購入に充てさせて頂きました。

ありがとうございます。

海士町中央公民館

善意のともじび

この度、奈良県在住の末永仁志様より海士町の子どもの教育のために、役立ててほしいということでご寄付をいただきました。

今後の教育活動に、有効に使わせていただきたいと思います。

紙上より厚くお礼申し上げます。(関連記事 8頁)



平成17年度 海士町防災避難訓練実施 迅速かつ安全に！



消防団員による要援護者の搬送訓練

去る11月29日に海士町全域に於いて、防災避難訓練が実施されました。

今回の訓練は、現在見直しが見直しの災害対応を迅速に行うとともに、各防災関係機関（行政・消防署・消防団・町内各地区）の連携強化と防災意識の高揚を図ることを目的に行ったものです。

近年世界レベルの災害として、23万人以上の人が命を落とすという悲惨な大災害が発

生しました。

隠岐地方においては、過去に、日本海中部地震と北海道南西沖地震による津波の被害を経験したという経緯があります。訓練当日には、町内の行事等がある地区を除き、小雨まじりの天気の中、9地区232人が訓練に参加しました。

今回は、波高4メートルの津波を想定し、過去に津波の被害経験をしている保々見地区を重点訓練地区として指定し、区役員による避難計画を策定してもらい、それに並行して、隠岐島消防署海士支所

署員による要援護者の搬送方法や簡易タンカでの搬送方法等の事前指導を受け、訓練に臨みました。当日は、区長さんと消防班長が消防団員を指揮し、住民の避難を迅速に行い27分という短時間で全員の避難が終了できました。その後、訓練参加者との反省会がもたれ、消防署からの貴重な講評と、それに対する意見交

換もできました。今回の訓練でいえることは、地区の住民一人ひとりが、津波災害に対してどの様に対処するかを、事前に色々な意見を出し合っで考えた事だと思われま。地域の防災は、他人任せではなく一人ひとりが防災意識を持つことが大切です。今後も地区に合わせた防災訓練を行いたいと考えていますが、やはり自分の住んでいる地域の現状と住んでいる人をよく把握する事が、一番の防災につながるのではないのでしょうか。今回を契機に町民一人ひとりが防災に対する意識を今一度認識してほしいと思います。



地区反省会：消防所長の講評の様子

～申告受付日のお知らせ～

平成18年1月償却資産申告受付日程

月日	受付時間	会場
1月27日(金)	午前 9:00～10:00	菱浦公民館
1月27日(金)	午前 10:30～11:00	豊田区公民館
1月27日(金)	午後 1:30～2:00	保々見区公民館
1月27日(金)	午後 2:15～3:15	知々井区事務所
1月27日(金)	午後 3:30～4:00	御波区事務所
1月30日(月)	午前 9:00～10:00	崎文化センター
1月31日(火)	役場生活環境課窓口において受付	

平成18年県町民税申告受付日程

月日	受付時間	会場
2月22日(水)	9:00～10:30	福井公民館
	2:00～4:00	菱浦公民館
2月23日(木)	9:00～11:00	諏訪会館
	2:00～4:00	西区公民館
2月24日(金)	9:00～10:00	北分区公民館
	2:00～4:00	東区公民館
2月27日(月)	9:00～10:00	豊田区公民館
	2:00～4:00	宇受賀区公民館
2月28日(火)	9:00～10:30	知々井区事務所
	2:00～4:00	保々見区公民館
3月1日(水)	9:00～11:00	御波公民館
	2:00～4:00	崎文化センター
3月2日(木)	9:00～10:00	ひすか会館
	2:00～3:00	多井区公民館

※ 当日都合の悪い場合は、役場生活環境課窓口にて申告していただきますようお願い致します。

【西郷税務署納税相談】

日時 2月20日(月) 午後1:00～午後4:00
2月21日(火) 午前9:00～午後3:00
場所 隠岐開発総合センター1F集会室

輝け未来へ末永仁志選手…頑張れ！

御波の孫が千葉ロッテマリーンズ入団

★☆憧れのプロ野球選手になれて幸せ★☆

みなさんご存じですか？2005年(平成17年)ドラフト会議高校生の部でみごと3位で入団された末永仁志さん(18歳)を。

なんとこの方は、御波の永原馨さんの甥にあたられます。今回、紙面インタビューすることができましたのでご紹介します。

速球！！なんとMAX145キロ



入団式でコメントする仁志さん

身長 188 cm
右投の投手。
MAX 145 *
背番号 66

応援してます



仁志さんから

- ◆今まで一番楽しかった事
たくさんの人に出会え、色々な経験が出来たこと。
- ◆今まで一番つらかった事
自分の投球が思い通りに行かず落ち込んだ時。
- ◆将来どんな選手になりたいか。理由は？
ソフトバンクの斎藤和己さんのような球界を代表するような投手で子供達に夢を与えられる選手になりたいです。
- ◆プロ野球選手を意識したのは？
スカウトの方が学校とか試合、練習試合を見に来られるようになった4月ごろです。
- ◆入団後の気持ち
やっとプロになる実感が湧きました。小さい頃からの憧れのプロ野球の選手になれて幸せです。
- ◆好きな言葉は？
〈感謝〉です。
- ◆隠岐海士町の印象は？
高校1,2年の時はクラブで行けませんが、毎年お盆には家族で行き大好きな海でさざえやあわびをすもぐりして取ります。自然がたくさんあり大好きです。



お母さん(旧姓 永原君代さん)から
◆小さい頃はどんなお子さんでしたか？

とても達者な子供で病気もせず病院が大嫌いな事もあり血液型も知らないまま18年8ヶ月。球団からの検査で初めてO型だと知りました。小学3年生の時に友達のお父さんに見学においでと誘われ後から様子を見に行った時にはマウンドでとても楽しくボールを投げていました。末っ子でよく泣いたけど厳しいチームで最後まで頑張ったと思います。

◆息子さんへ一言

少年野球から始まり中学、高校とたくさんの素晴らしいスタッフ、チームメイトに恵まれ本当に幸せ者だと思います。1月に亡くなったお爺ちゃんは高校野球もプロ野球も大好きだったから仁志の姿を見せれないのは残念だけど応援してくれる皆さんにしっかり力をつけて早く一軍でプレー出来るように頑張ってください。

～隠岐國海士町からも～
末永仁志選手のご活躍を
町民みなで応援しています。
ガンバレ！
ガンバレ！
末永選手

～カと汗の結集 桜民パワ－全開！～

着々と進む海士町千本桜構想…



子どもの成長とともに大きく育ちますように…。



森の仲間とミントクラブの皆さん植樹を終えて記念撮影



肥料を片手に指定された場所へ移動。



北分地区の皆さん、1ターンの森脇さん(中央右側)も加わって植樹に精を出しました。

今年も5ヘクタールに植樹

3年目となる千本桜植樹祭が11月27日(日)に行われました。今年も植樹協力隊を募集したところ、各地区、職場、各種団体と総勢428名35団体(小学生から80代)の方々が参加し、350本(ヒガンザクラ、オオシマザクラ、シダレザクラ、ヤマザクラ)を金光寺山麓(西側)、と茅崎付近(キンニヤモニヤセンター対岸)5ヘクタールに植樹しました。

4人のグループで手際もよく2時間程度で植樹しました。今回の植樹で計1200本の桜を植樹したことになります。

なお、平成18年度も、金光寺山麓および茅崎付近(キンニヤモニヤセンター対岸)に400本の植樹を予定しております。今年度は、海士町千本桜構想の最終年度となりますが、町民の皆さんはもとより出郷者他関係者の皆様の一層のご支援、ご協力をいただきます。



急斜面では掘りおこす作業も大変です。



石が多くて掘るのも大変な場所でした



作業も笑顔で！

交流のある町！ 文化の秋・芸術の秋

第35回海士町産業文化祭

自立・挑戦・交流～そして限りなき前進～

11月19日、20日の2日間にわたり農協店舗前、役場、開発総合センター周辺を会場に恒例となった産業文化祭が開催されました。初日の朝早くから地元農産物、加工品の販売を待ち開店前から行列のできるほどの賑わいをみせました。また、開発センター内の作品展示コーナーでは、書道、俳句、手芸等文化かおる秋にふさわしい作品の数々が並び訪れた方の目をとめました。午後からは、食育講演会があり、TVでおなじみの大村直己先生をお招きして食育の大切さをお話いただきました。2日目は、地域芸能祭が催され小学生から大人まで14団体がエントリーし、自慢の腕前を披露し会場を盛り上げました。

来年もまた、たくさんの町民が参加し、そして交流のある産業文化祭になることを期待します。



地域通貨のブースでは、地域通貨“ハーン物語”の紙芝居や住基カード申請サービスコーナーがありました。



北分地区のみなさんは、元気な集落づくりの取り組みの一貫を展示してみました。



畜産共進会ではなく「畜産競親会」と銘々し、出品した牛の資質の向上と、島前の生産者同士の交流が深まった一時でした。



フラダンスブームに先駆けて・・・楽しく踊る菱浦のみなさん。



『ちいちゃんの店』は、来店のお客様との対話の弾む“交流”のあるあったかいお店でした。



2度目の来町をいただいたマリimba演奏者の小山さん。ピアノ演奏の永田さんとともに意気のある演奏を披露してくれました。

平成17年度 海士町地域省エネルギービジョン

策定事業経過報告

海士町で考えられる「省エネルギー施策」や「導入可能な省エネルギー機器」に関し、先進的な取り組みが行われている地域を訪問し、取り組みの動機、現状、課題、将来展望を把握し、本町の地域省エネルギービジョン策定の参考とすることを目的に先進地調査を実施しました。

平成17年10月31日(月)～
11月1日(火)

10月31日 島根大学、松江市、松江市立母衣小学校
11月1日 広島県 府中市、呉市

(参加者 21名)

◆島根大学においては大学構内においての省エネ活動の取り組み、ISO14001取得に向けての取り組みなどの話を伺いました。

松江市ではリサイクル都市日本一を目指してをキャッチフレーズに掲げ、環境に優しい日本一の循環型都市を目指

すための手法として市民参加による政策立案と活動展開について話を伺いました。

松江市立母衣小学校では、学校の施設の太陽光発電、風力発電、雨水利用システムなどや、また、点字ブロックの設置や、段差解消によりバリアフリーに考慮した施設を見学しました。

◆府中市においては2000年から府中市が行っている環境活動について話しをお伺いしました。府中市は各年度に色々な事業を行っており、行政の活動だけでなく市民活動も大変活発でした。市民活動においても府中市脱温暖化対策協議会を設立し、エコマナーを通じた環境保全活動の推進を行っていました。

呉市においては、「くれ環境市民の会」の活動について詳しく話を聞きました。

「くれ環境市民の会」は事務局は現在は市役所環境政策課が担当しているが、将来的には独立運営を目指しており、活動は四つの部会に分けて競い合って活動していました。

先進地調査を終えて参加者は、自分の行動を振り返ってみて反省をした、もったいない精神は大切だ、色々勉強になることが多数あったなどの意見があり、今後、省エネルギービジョン策定に反映できるように努めていきたいと考えています。

今後の日程

▼第3回町民懇談会(海士町省エネ倶楽部)

・開催日

1月21日(土)

・場所

隠岐開発総合センター

*なお、開催時間および詳細については、後日チラシ折り込み等でお知らせします。

*第3回の町民懇談会(海士町省エネ倶楽部)を前記のとおり開催予定です。

町民の皆さま、何かとお忙しい事とは思いますが、ご都合をつけ是非ご参加いただきますよう、よろしくお願い致します。

ヒュー・プリステン先生の「外国人の新鮮な目で海士を見て」

フレッシュ・アイズ・オン・あま

Vol.3

「英語教育の将来について」

最近、小学生には「英語教育の改善」が必要ではないかと思うようになりました。現在(海士の)小学校では、一部で英語を勉強し、少しずつよい方向に向かっていきます。しかし、さらに包括的な英語教育ができれば、小学生が中学校へ上がったとき、またそれ以降の、めざましい進歩につながるのではないのでしょうか。

「小学校から、きちんと英語を学ぶべき」というのが、最近の英語教育のトレンド(傾向)となっております。つまり、小学校から英語の教科書を使い、全学年で毎週英語を勉強するということです。

しかし、このような新しい「徹底した英語教育」は、今の日本では難しいようです。そこで問いたいのです。「日本の、そして海士町の英語教育はどうあるべきなのか?」と。

私は、「ローマ字」や「カタカナ英語」だけではなく、小学生のうちから英語の「本物の」発音や意味を学ぶべきだと思います。「カタカナ英語」に慣れてしまうと、あとで英語の発音をきちんとしようとしてもうまくいきません。だから、日本人は、英語の発音がちよつと苦手なのです。一つ一つの単語を(カタカナ英語で)暗記するより、きちんとした「発音」や「読み書き」、「会話力」を身につけた方がよいし、それは「受験英語」にも役立つでしょう。

そして、このような「制度」の改善も大切ですが、先生方や保護者の方のサポート(英語への理解等)も必要なことです。

外国語を学ぶことはとても楽しいことです。もちろん、「チャレンジ」でもあります。だからこそ私たちは、子どもたちに「英語を学ぶ」最高の機会と環境を提供すべきなのではないでしょうか。

(湯橋卓也訳)

… 平成16年度決算報告 …

厳しい財政状況続く！！

海士町の平成16年度の決算が9月定例議会で認定されました。決算は、いわば町の家計簿で、一年間に税金、交付金、補助金などが、どれくらい入り(歳入)、私たちの暮らしのためにどのような使われ方をしたか(歳出)を明らかにするものです。

平成16年度に実施した主な事業

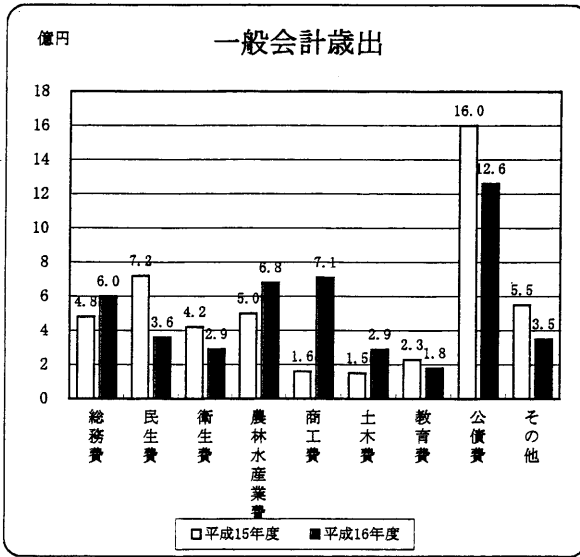
- ◆ 農林水産処理加工施設(CAS)整備事業
- ◆ 塩精製施設整備事業
- ◆ 先灘地区海岸環境整備事業
- ◆ 民具収蔵館建設事業
- ◆ 定住促進住宅建設事業
- ◆ 空き家活用事業

一般会計歳出
47億1千5百万円
(対前年度比 2.0%減)

一般会計歳入
47億6千9百万円
(対前年度比 2.0%減)

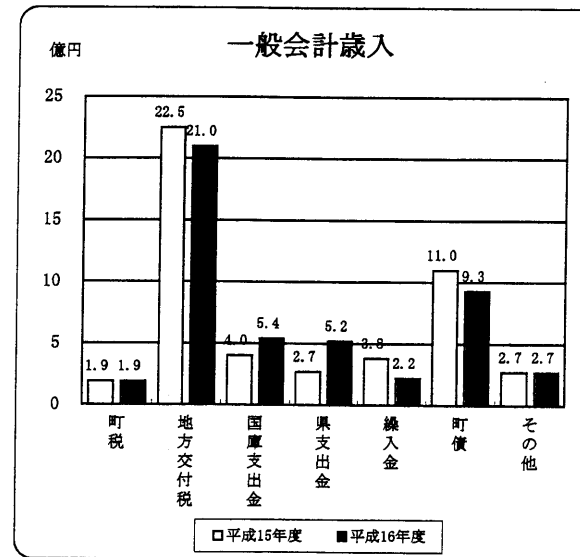
用語解説

- ◆ 総務費
役場の運営、財産管理、徴税費、定住住宅、電子計算費など
- ◆ 民生費
老人、児童、障害者福祉など
- ◆ 衛生費
予防接種や検診、ゴミ処理など
- ◆ 農林水産業費
農業、林業、畜産業、水産業の振興など
- ◆ 商工費
キンニヤモニヤセンター管理、観光、特産品開発など
- ◆ 土木費
道路の改良、港の整備、公営住宅の改修など
- ◆ 教育費
学校の運営、社会教育など
- ◆ 公債費
町債(借金)の返済
- ◆ その他
議会費、消防費、諸支出金



用語解説

- ◆ 町税
皆さんが町に納めた税金。町民税・固定資産税・軽自動車税など
- ◆ 地方交付税
国が徴収した税金の中から、町の財政状況に応じて交付されるお金。(財源は所得税・法人税・酒税・たばこ税・消費税の法定五税)
- ◆ 国庫支出金・県支出金
事業を行うにあたって国・県が補助するお金
- ◆ 繰入金
他会計や基金(町の貯金)から入る現金
- ◆ 町債
大きな事業を行うために国・県・金融機関から借り入れたお金
- ◆ その他
各種交付金、分担金、負担金、使用料、手数料、財産収入、繰越金、諸収入



(単位:千円)

区分	収入総額	歳出総額	収支差引	収入総額のうち 一般会計からの繰入金
国保事業勘定	299,163	282,976	16,187	24,042
診療施設勘定	332,449	332,448	1	9,232
歯科診療勘定	45,276	45,276	0	4,542
簡易水道事業	258,985	258,985	0	39,195
老人保健事業	419,237	408,382	10,855	27,780
下水道事業	546,878	535,470	11,408	82,582
キンニヤモニヤセンター	61,324	61,324	0	6,197

② 特別会計
特別会計の決算額は、左の表のとおりです。本来特別会計は、独立採算によって運営されるべきものですが、医療や簡易水道、下水道事業など、一般会計からの繰入金(財政支援)に頼らなければ、その運営ができないのが実態です。

人口規模も財政規模も小さい当町は、今後の「三位一体の改革」の影響をまともに受けるため、離島の「ンディヤ」行政改革の取組を国の各機関に訴え、理解を求めていく一方で、「攻めと守り」の政策で整備したCAS凍結センター、御塩司所等の産業振興施策の成功により多くの外貨を獲得できるよう、また地域通貨などの手法により地域経済が循環するよう、町民の皆様方により一層のご支援、ご協力をお願いします。

歳入では、約半分を占める地方交付税が「地財ショック」によって、15年度より約1億5千万円削減され、自主財源に乏しく地方交付税に依存している当町では、運営がより一層苦しくなり、危機的な状況に対応するため大幅な人件費削減を行ったのも16年度でした。

15年度と比較すると歳出では、民生費の減額と商工費の増額が目立っています。これらの主な要因は、民生費が15年度事業の「諏訪苑施設整備事業」が完了したこと、商工費では、町の生き残りを賭けた政策事業である「農林水産施設(CAS)整備事業」と「塩精製施設整備事業」を16年度に実施したことによるものです。

町の決算状況について

① 一般会計

一般会計の決算額は、上記グラフのとおりです。

議会だより

求められる政策立案・

自主性・自律性の

拡大に向かつて

議長 古濱 正之



を経過するものの、税財政の
未来像が定まらず、その成果
も不透明なままで、昨年の「地
方財政ショック」から脱する
事の出来ない今日、地方自治
体の財源は困窮をきたしてお
ります。

そうした中、山内町政4年
目の集大成の昨年は、「自立・
挑戦・交流」をそして限りな
き前進を経営指針とし、産
業創出の基盤となるべき、C
AS凍結システム並びに塩工
場の稼働、新宿日本語学校の
協力による外国人学生との交
流等々、自立促進に向けた施
策がスタートしたところであ
ります。

議会は執行部と車の両輪の
ごとく調和をはかりながら、
自ら変わる地方議会をめざし

て、報酬削減(40%)、「子育て
支援条例」等の提案をして
まいりました。

国と地方の税財政改革(三
位一体改革)で地方独自の構
想力が求められている今日、
全国議長会において、議長へ
の議会招集権の付与や首長の
専決処分条件の見直しなど、
議会活性化に向けての検討が
なされており、議会としての
政策立案や、行政執行への
チェック機能がさらに求めら
れるところです。また、議会
の発案する分野が大幅に広が
り、議会の自主性、自律性を
拡大していくことが必要であ
ると考えます。

こうした分権改革の中、権
能と責任を果たすため、より
一層の研鑽を積み、皆様に信
頼される議会となるべく努力
をしてまいる所存ですので、
本年も変わらぬご厚情を、お
願い申し上げます。

終わりにになりましたが、皆
さまのご多幸とご健勝を祈念
いたしまして年頭のご挨拶と
致します。

謹 賀 新 年

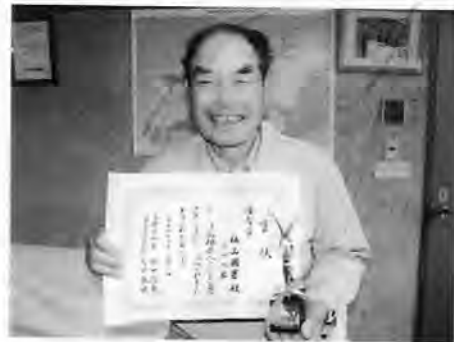


本年もよろしく
お願い申し上げます。



板山國男さん 80歳(東)

受賞おめでとうございます!



よい歯の
コンクール



島根県では、80歳以上で自分の歯を20本以上残すという目標を掲げ、80歳以上の方を対象とした「八〇二〇よい歯のコンクール」を実施しています。県下で最優秀賞一名、優秀賞四名、参加者のうち自分の歯が20本以上残っている人に優良賞が贈られます。

今年度のコンクールでは、海士町から四名の方が表彰され、中でも、板山国男さん(東)は、28本歯が残っており、海士町では初めての優秀賞に選ばれました。
★栄えある賞に輝いた方々
優良賞 明石スミ子さん
岡本 正志さん
藤谷 勇さん
板山さんのコメント
「小さい頃から固い物をよく食べました。この年になつて表彰を受けることがあろうとは・・・。」

エコクッキング開催

海士町連合婦人会は、11月13日海士中調理室においてエコクッキング教室を行いました。当日は、坂幹子栄養士を講師にお迎えし、会員20名が参加して行い、料理の作り方や環境に優しい調理の方法について説明を受けた後、調理実習し出上がった料理で試食会をしました。会員相互の交流を深めました。また、当日NHK料理大賞で入賞された後藤

隆志さんの本番前の予行演習もあり「椎茸餅のこじょうゆピザ」と「旬野菜と玄米のあつさりスープ」の披露もあり有意義な講習会となりました。

当日の実習メニュー

- ・豚ロース肉のソテー野菜のピューレソースかけ
- ・エビの緑茶いため
- ・昆布の佃煮
- ・豆乳の炊き込みごはん
- ・一口大福
- ・米糖マフィン
- ・魚のこぶ蒸し



苑 訪 談

冬 色 的

♪ サックスの音色楽しむ♪

平成17年11月18日諏訪苑に、車椅子のサックス演奏者の渡辺昭彦さんが訪れ、利用者40名にサックスの音色を披露した。昨年引き続きの来苑でお互いに1年ぶりの再会を喜び、王将、娘よ津軽平野などの懐かしい曲に交え、平和を願ってレットイットビート、花等10数曲を次々に演奏した。

霧囲気のうちに幕を閉じました。
渡辺さんは、北海道滝川市を拠点に自分の車にサックスや音響設備を積み込み、日本中を旅しながら演奏活動を行っています。この度、海士町の「産業文化祭」でのサックス演奏に訪れた機会に諏訪苑をボランティア訪問して利用者の方にサックスの音色を披露したものです。

利用者からお礼の意味もこめて、隠岐民謡の「相撲取り節」が披露され和やかな

(介護員 涌井健次)



板山國男さん 80歳(東)

受賞おめでとうございます!

よい歯の
コンクール



島根県では、80歳以上で自分の歯を20本以上残すという目標を掲げ、80歳以上の方を対象とした「八〇二〇よい歯のコンクール」を実施しています。県下で最優秀賞一名、優秀賞四名、参加者のうち自分の歯が20本以上残っている人に優良賞が贈られます。

今年度のコンクールでは、海士町から四名の方が表彰され、中でも、板山国男さん(東)は、28本歯が残っており、海士町では初めての優秀賞に選ばれました。
★栄えある賞に輝いた方々
優良賞 明石スミ子さん 岡本 正志さん 藤谷 勇さん
板山さんのコメント
「小さい頃から固い物をよく食べました。この年になって表彰を受けることがあろうとは・・・。」

エコクッキング開催

海士町連合婦人会は、11月13日海士中調理室においてエコクッキング教室を行いました。当日は、坂幹子栄養士を講師にお迎えし、会員20名が参加して行い、料理の作り方や環境に優しい調理の方法について説明を受けた後、調理実習し出上がった料理で試食会をしました。また、当日NHK料理大賞で入賞された後藤

隆志さんの本番前の予行演習もあり「椎茸餅のこじょうゆピザ」と「旬野菜と玄米のあつさりスープ」の披露もあり有意義な講習会となりました。

当日の実習メニュー

- ・豚ロース肉のソテー野菜のピューレソースかけ
- ・エビの緑茶いため
- ・昆布の佃煮
- ・豆乳の炊き込みごはん
- ・一口大福
- ・米糖マフィン
- ・魚のこぶ蒸し



諏訪苑

冬休みの

♪サクソスの音色楽しむ♪

平成17年11月18日諏訪苑に、車椅子のサクソス演奏者の渡辺昭彦さんが訪れ、利用者40名にサクソスの音色を披露した。昨年に引き続きの来苑でお互いに1年ぶりの再会を喜び、王将、娘よ津軽平野などの懐かしい曲に交え、平和を願ってレットイットビート、花等10数曲を次々に演奏した。利用者からお礼の意味もこめて、隠岐民謡の「相撲取り節」が披露され和やかな

雰囲気のうちに幕を閉じました。

渡辺さんは、北海道滝川市を拠点に自分の車にサクソスや音響設備を積み込み、日本中を旅しながら演奏活動を行っています。この度、海士町の「産業文化祭」でのサクソス演奏に訪れた機会に諏訪苑をボランティア訪問して利用者の方にサクソスの音色を披露したものです。

(介護員 涌井健次)



教育だより

海士中学校2年生24人は、平成17年12月17日(土)、島根大学で開催された「地域づくりセミナー・しまねの人材育成を考える」に参加した。我が国の地域産業論の第一人者である一橋大学関満博教授をメインコメンテーターとして

お迎えし、これからの島根の産業振興に必要な人材について議論を深めるために、生き生きプロジェクト設立発起人会、島根大学が主催して、基調講演・シンポジウムが行われた。

海士中2年生は、地域づくりの事例発表として

地域づくりセミナー 人づくりは地域づくりだ



「私たちの海士町」をアクセスマ法・産業・文化・見どころ・これからの海士町に必要なことなどを班別にパソコンを使い、みごとにプレゼンテーションを行いました。本年6月にも海士中学

校修学旅行の時に一橋大学にて発表しており、その内容を生徒達がさらにバージョンアップさせた内容となりました。またしげさ節の踊りとキンニヤモニヤの踊りも披露しました。



学芸会

海士小学校

11月27日、「学芸会」を行いました。テーマは、「協力してみんなの心を一つにする学芸会にしよう」でした。それぞれの学級では、劇に取り組み、精一杯の演技を披露しました。郷土芸能クラブ(神楽・民謡・銭太鼓)は、4月から地域の講師の皆さんに指導していただき、たいへんお世話になりました。この他、第一



慶照保育園の園児も、かわいい踊りを披露しました。教職員も、寸劇と歌「島人ぬ宝」にチャレンジしました。当日は、誰もが子どもたちの発表に、笑ったりうなずいたり涙したりしながら、温かい気持ちになり、半日を過ごすことができました。「学芸会」は、海士小学校の特色ある教育活動としてずっと続けていきたいものです。

学芸会の感想より

今年はおじいさんも孫の活躍する姿を観るんだ…と初めて出かけました。有難いことに、おばあさんと二人そろって一番前の席で観ることができ、子供達が一生懸命発表する姿を間近に、感動したそうです。(中略) 全体的にとっても良かったです。ありがとうございました。

チャレンジ土曜クラブ



田舎の子どもも経験・体験不足と言われても否めない今日、チャレンジ土曜クラブ実行委員会では第一次産業を中心としたプログラムで少しでも子ども達にいろいろな体験をしてもらいたい、またその体験を通して働く人の苦労や喜びを知ってもらいたいと考えているところです。

さて、今年度は、まず、5月21日に、スイートコーンの植え付けを行いました。今年もいっぱい収穫して、キンニヤモニャセンターで販売させ

てもらおうと思っていました。が、6月の大風、原因不明の枯れ（病気？）でたくさん収穫・販売には至りませんでした。

しかし、植え付けの際の畝作り、マルチ張り、救出作戦の際の竹のしぼり方、おどしのつけ方等を味わえたのではないかと思います。

毎年、1月に行っている「そば打ち体験」に向けて、今年にはそばを育てるところから始めてみようということで、8月21日にそば播きを行いました。

そばの種を均一に播き、トラクターに乗って混ぜることを経験させてもらいました。



順調に花が咲き出していたそばも、9月の大雨で根腐れし、スイートコーンに引き続いきそばもダメになってしまい、農業や漁業が自然の影響をモロに受けることを実感しました。

9月25日は第3回魚釣り大会を行い、多くの参加者で賑わいました。海士町一の釣り吉達が集まり豊田湾で自慢の腕（竿）を振るいました。当日は、北よりの風が強く、豊田の沖波止に立つことはできず、内波止での開催となりましたが、アジ、クロヤ、カナ、アオリイカ、デエロ等が釣れ盛り上がりしました。

糸や針を付ける事が少なく、海が近くにあっても、釣りとは疎遠になつていようを感じる最近の子ども達にとって、親子で行ったこの釣り大会は一つの良いきっかけとなればと思います。



11月12日にはそばの刈り取り、また、19日には産業文化祭に合わせてウォークラリーを行いました。そば刈りは、刈り方、えいそでの縛り方、ハデにかけることを体験しました。ウォークラリーでは、実に多くの参加者があり、各班で海士町に関わるクイズを解きながらゴールを目指しました。



12月には諏訪苑にて宇受賀老人会の方を講師に三世代しめ縄作りが行われました。「縄をなう」ことに悪戦苦闘していたようです。何とかできたしめ縄を「自転車に飾る、部屋に飾る」と嬉しそうに教えてくれました。このような活動を通して子ども達が少しでも体験不足の解消、自然に親しむといったことなど、都会の子ども達にはできない体験をたくさんして、たくましく育って欲しいと願っています。



隠岐島前高校だより

レスリング部快挙

第60回国民体育大会結果報告

グレコローマンスタイル 5位 3年 安部 一徳
 フリースタイル 5位 2年 上田 雄太



10月23日～26日の間、第60回国民体育大会レスリング競技が岡山県倉敷市で行われました。島根県代表選手として、少年の部に本校から8名の選手、成年の部においては本校OBが他県を含めると4名出場しました。少年の部において、本校3年生安部一徳選手と2年生上田雄太選手が5位入賞という結果を残すことができました。その他の選手は残念ながら勝利に繋げることができませんでしたが、積極果敢に攻め、悔いのない試合をすることができました。また、当日は多数の保護者の方や卒業生が応援に駆け付けてくれ、選手一同心強く感じ、試合に臨むことができました。今後、今大会で得た経験を活かし、それぞれの目標に向け、より一層の努力をさせたいと思っています。本当にありがとうございました。

島根県少年監督 澤谷隆成
 少年コーチ 河内龍馬



●去る11月27日島根県体育協会会長 澄田信義氏より感謝状が進呈されました。

平成17年分の所得税の確定申告

税務署窓口での相談及び申告書の受付は、

平成18年2月16日(木)から
 平成18年3月15日(水)までです。



窓口か郵送などで、自分で書いて、お早めに。

- 確定申告期間中は、税務署・申告相談会場は大変混雑しますので、郵送などによる提出をおすすめします。
- 還付を受けるための申告書については、1月から提出することができます。

広島国税局・税務署



この社会あなたの税がいては

●国税電子申告・納税システム(e-Tax)について

インターネットを利用して、自宅やオフィスでできる国税電子申告・納税システム(e-Tax)。あなたにとってもイータックス。是非ご利用下さい。

*平成18年1月上旬から開始届出手続きがオンラインでできるようになり、本人確認書類の提出が不要となります。

e-Tax ホームページアドレス
<http://www.e-tax.nta.go.jp/>

隠岐島前高校だより

レスリング部快挙

第60回国民体育大会結果報告

グレコローマンスタイル 5位 3年 安部 一徳
 フリースタイル 5位 2年 上田 雄太



10月23日～26日の間、第60回国民体育大会レスリング競技が岡山県倉敷市で行われました。島根県代表選手として、少年の部に本校から8名の選手、成年の部においては本校OBが他県を含めると4名出場しました。少年の部において、本校3年生安部一徳選手と2年生上田雄太選手が5位入賞という結果を残すことができました。その他の選手は残念ながら勝利に繋げることができませんでしたが、積極果敢に攻め、悔いのない試合をすることができました。また、当日は多数の保護者の方や卒業生が応援に駆け付けてくれ、選手一同心強く感じ、試合に臨むことができました。今後、今大会で得た経験を活かし、それぞれの目標に向け、より一層の努力をさせたいと思っています。本当にありがとうございました。

島根県少年監督 澤谷隆成
 少年コーチ 河内龍馬

●去る11月27日島根県体育協会会長 澄田信義氏より感謝状が進呈されました。

平成17年分の所得税の確定申告

税務署窓口での相談及び申告書の受付は、

平成18年2月16日(木)から
 平成18年3月15日(水)までです。



窓口か郵送などで。自分で書いて、お早めに。

- 確定申告期間中は、税務署・申告相談会場は大変混雑しますので、郵送などによる提出をおすすめします。
- 還付を受けるための申告書については、1月から提出することができます。

広島国税局・税務署



この社会あなたの税がいては

●国税電子申告・納税システム(e-Tax)について

インターネットを利用して、自宅やオフィスでできる国税電子申告・納税システム(e-Tax)。

あなたにとってもイタックス。是非ご利用下さい。

*平成18年1月上旬から開始届出手続きがオンラインでできるようになり、本人確認書類の提出が不要となります。

e-Tax ホームページアドレス
<http://www.e-tax.nta.go.jp/>

「水と緑の森づくり税」を活用

平成17年4月から「水と緑の森づくり税」を活用した事業が始まっています。

今回は、皆さんからいただいた税で行う荒廃森林再生のための取り組み（県民再生の森事業）の支援内容をお知らせします。

◆事業の内容

重要な水源地域内で森林整備活動が行われていない41年生以上の人工林（10年を超えて間伐などが未実施）について、県と森林所有者と県民再生の森協定書を締結し、不要木の伐採や広葉樹の植栽などの取り組みについて支援します。

◆事業を実施できる人

県民再生の森協定書を締結した森林で、この森林所有者か、または森林所有者から作業を委託された人が事業を実施できます。

◆交付される額

不要木の伐採では、1ヘクタール当たり最高で10万円を、また、必要に応じて行う不要木の伐採跡への広葉樹の植栽では、1ヘクタール当たり32千円～197千円を交付します。（植栽は、本数によって交付する額が異なります。）

この他にも、「水と緑の森づくり税」を活用したものとして、自主的な森づくり活動を推進するため、地域や団体などが自ら企画・立案された取り組みに対しても支援を行っています。

「水と緑の森づくり税」を活用した各種事業は、隠岐支庁農林局林業振興グループ

▼電話085122-9647までお問い合わせください。

中国電力からのお知らせ

お客さまの電気に関するお問い合わせやご用件にスピーディーにお答えするために、カスタマーセンター（岡山）を設置しています。隠岐営業所のフリーダイヤルの番号は下記のとおりですので、ご自宅の電話番号簿の変更をお願いします。〔今までの営業所の電話番号におかけいただくとカスタマーセンター（岡山）に自動転送されますが、営業所までの電話料金はお客さま負担となりますので、フリーダイヤルをご利用下さい〕

▼電気に関するご相談・お問い合わせは、

0120-313-608

▼お引っ越しによる電気のご使用の廃止・開始のお申し込みは

0120-313-782

受付時間は9時00分～20時00分（土・日・祝日を除く）です。なお、停電などの緊急なご用件については、フリーダイヤルで全日24時間承ります。＊携帯電話・PHSからもご利用いただけます。上記以外の時間帯はガイダンスが流れますので、ガイダンスにしたがって、ダイヤルを回すか、プッシュボタンを押して下さい。時間帯によっては少々お待ちしていただく時間がありますが、必ず担当者が対応に出るまでお待ちいただきますようお願いいたします。

中国電力（株）隠岐営業所

実証実験イベントご案内

紙幣ハーンから電子ハーンの世界へ

地域通貨実証実験記念イベントを開催します

平成18年1月29日（日）キンチャモニャセンターに集まれ！

住基カードがあなたのお財布になります！

島の経済を活性化させるために始めた紙幣の地域通貨「ハーン」

日本円は金融機関のキャッシュカードで持ち歩くようになった現在、通貨の自然な発展形式に則り、紙幣の地域通貨「ハーン」も電子カード（住基カード）内で管理することができます。

住基カードを持っているあなた！住基カード内に電子「ハーン」を貯めて利用してみませんか？

住基カードを持っている方は、どなたでも参加できます。

さあ、住基カードを持ってキンチャモニャセンターへお出かけ下さい。

平成18年1月29日（日）に地域通貨実証実験記念イベントを開催します。

＊この日は楽しい企画をたくさん予定しています。住基カードを持っていないあなたでも、ケータイ（携帯電話）があれば参加OK！ さあキンチャモニャセンターに集まれ！

ハーン事務局・役場地域通貨プロジェクト

新成人の皆さん、国民年金の加入手続きをしましょう

国民年金は、日本国内に住所を有する20歳から60歳までの人が加入することになっています。

自営業者、学生などは「第一号被保険者」に、サラリーマン、公務員は「第二号被保険者」に、第二号被保険者に扶養されている配偶者は「第三号被保険者」になります。

国民年金などの公的年金は、老後の収入を国が約束してくれる年金制度です。第一号被保険者となる方は、20歳になったら忘れずに加入して下さい。なお、学生である場合など収入が少ないために保険料の納付ができない場合は、申請により保険料の納付が猶予・免除となる制度があります。この申請を行わないまま、国民年金保険料が未納となつてしまうと、万一のときに障害年金が受け取れないなど思わぬ事態を招きますのでご注意ください。手続きのお問い合わせは、役場住民係又は、松江社会保険事務所までお願いします。

住民税非課税世帯の老人医療受給者の皆様へ

入院される方の世帯が住民税非課税の場合、入院時の食事代（標準負担額）が安くなります。

該当する方は、入院される前に役場生活環境課老人医療担当（TEL2-0858）までご連絡ください。申請書を提出していただいた上で、減額認定証をお渡しします。

合格おめでとう！

全国珠算学校連盟珠算暗算検査合格者

第184回珠算検定 (11/20実施)

- 初段 青山健太郎(菱浦)
- 全国珠算学校連盟珠算検定
- 2級 柏原 光(宇受賀)
- 3級 山戸 彪雅(豊田)
- 7級 藤田 侑(北分)
- 8級 服部明日果(北分)
- 山戸 莉緒(豊田)
- 竹谷 波(豊田)
- 第193回暗算検定
- 6級 高橋 芽生(宇受賀)

職員人事異動

(12月31日付)

◆ 辞職
石田 浩二(建設課)

窓の籍

- 高須 通友さん 知々井
- 濱見さおりさん
- 金坂 俊二さん 御波
- 上野 光子さん
- 坂本 真也さん 菱浦
- 長井美恵子さん
- 加茂 俊秀さん 豊田
- 梅原 敬子さん
- 田村 匠くん 菱浦 武士
- 新谷 育海くん 多井 重喜
- 石倉 大暉くん 東 功
- 村上 龍太くん 中里 晃治
- 宇野 瑞音ちゃん 菱浦 千秋
- 山中 海翔くん 中里 祐造
- しあわせに
- 戸籍の窓

あま 海士っこ



みゆう 木村美佑ちゃん(1歳9ヶ月)

平成16年4月17日生まれ

克彦さん・理恵さんのお子さん (東在住)

「踊ったり、歌うのが大好きな美佑です。4月にはお姉ちゃんになります！」

このコーナーでは、就学前までのお子さんを紹介しています。写真とコメントを添えてお送り下さい。お待ちしております。

問い合わせ先:総務課広報係 TEL2-0115

駐在さんのコーナー

今年もよろしくお願ひします。

昨年、広島、栃木、京都などで相次いだ児童殺害事件など愛が足りない事件が続発するなど、一年の世相を象徴する漢字に「愛」が選ばれました。

人の喜び、悲しみが伝わるのが愛だといわれています。

今年も海士町で事件事故が起きないよう、愛を込めて頑張りますのでよろしくお願ひします。

- 大野 秀政さん 宇受賀
- 金子 晴香さん
- 乾 高禎さん
- 三島 麻里さん 宇受賀
- 細川 英則さん 東
- 多久和彩子さん
- 岩永 孝之さん
- 柏原 美香さん 宇受賀
- 大野 光博さん 中里
- 山中ユリアさん
- 太田 陽介さん
- 新谷恵美子さん 北分
- 荒銀 文生さん
- 横山 夕菜さん 中里
- やすらかに
- 佐藤 恒夫さん 菱浦 71歳
- 今井美砂子さん 菱浦 67歳
- 堂根チヤノさん 崎 82歳
- 仲島 恵子さん 御波 71歳
- 安田 勝男さん 西 61歳
- 杵築真知子さん 崎 54歳
- 金地 秀美さん 東 50歳
- 戸鳴八重子さん 保々見 88歳

- 山根 常助さん 菱浦 84歳
- 藤井 博さん 菱浦 55歳
- 井藤 忠雄さん 知々井 78歳
- 戸鳴マサエさん 保々見 88歳
- 福岡 ハルさん 菱浦 95歳
- 紙上からのお礼
- 香典返し
- 金一封 杵築 泰久様(崎)
- 金一封 京野 和男様(御波)
- 金一封 安田 次子様(西)
- 金一封 堂根マズ子様(崎)
- 金一封 今井 貞春様(菱浦)
- 金一封 山根 竹尾様(菱浦)
- 金一封 戸鳴 正史様(保々見)
- 見舞い返し
- 金一封 山下 正一様(崎)
- 金一封 大下 茂様(北分)
- 金一封 田中 公様(福井)
- 金一封 大脇 饒様(知々井)
- 金一封 山中 重遠様(中里)
- 寄付金
- 金一封 斉藤チトリ様(菱浦)

● 広報郵送料 (海士町社会福祉協議会・特別養護老人ホーム諏訪苑より)

- 金一封 保谷歌都子様(尼崎市)
- 金一封 真井善次郎様(尼崎市)
- 金一封 沢田 嘉公様(海老名市)
- 金一封 門脇誠三様(隠岐の島町)
- 金一封 山本 乙由様(境港市)
- 金一封 面谷 安雄様(松江市)
- 金一封 上川 純代様(寝屋川市)
- 金一封 石塚 蔚様(松江市)
- 金一封 沼田 浩二様(宝塚市)
- 金一封 新里 由美様(大阪市)